

麗かに（うららか）太陽がおだやかに照らす様

この 1 年が あなたにとって実り多き年となりますように
そして あなたの周りにいてくれるすべての方も幸福に包まれますようお祈りいたします

「祈願」は まず感謝を伝えること

私達の恒例行事のひとつに「初詣」があります。1 年の無事を祈ったり、身体健全、商売繁盛、合格祈願など「お願いごと」をするわけですが、ついつい忘れてしまうのが無事に過ごさせて頂いた「おかげ様」の感謝のお祈りです。1 年のうちどれほど神様にお祈りを差し上げていますか？はたして自分が神仏のご加護をいただくにふさわしいことをしてきたらうか、極端な話、364 日神仏のことなど見向きもしないくせに初詣のときは堂々と、あたりまえの顔して「お願いごと」ばかり、あなたが神様の立場になってみてください。まるで放蕩息子が突然帰ってきて、親にこづかいをせびっているのと同じではありませんか。また、あちらこちらの神様をはしごして、これだけ回ったのだから御利益は沢山いただけるなあと得々としている人も居たりします。これは裏返せばどこの神様も信用していませんよ、ということになります。

「私は幸せになりたいのです。」と心の底から真剣に祈りましょう。その思いが、あなたの家族、お世話になっている方々への純粋なまごころであるならば神仏はあなたを望むところに導いてくれるのではないのでしょうか。

仏教のことは

「有り難い」

私たちが日常使う言葉ですね。語源は法華経の中で説かれた「是の諸々の菩薩は 甚だこれあり難し」に由来すると云われています。意味は、なかなかないこと、めったに会うことができないもの。ここから転じて、めったにないことを与えていただいた、となりそれは感謝です、となったわけです。

現代は、物質的には豊かになり、「有ること」が当たり前になり、ころから「ありがたいなあ」と感じるものが希薄になってしまっています。大切なものを失って、初めてそのありがたさに気づくことになります。

仏様の教えを実践しましょう

「布施行」のひとつに、「和顔施」(わけんせ)があります。微笑むこと、です。ただ笑うだけで他者に施すことができます。笑顔は体の奥深くまで伝わり、のど、肺、心臓というふうに次々と緊張をゆるめてくれます。リラックス状態になる、ということです。そして、周囲には明るいエネルギーを放ちます。笑って何になるんだ、とこの世の終わりみたいな顔をしている人がいます。そういう人を見るとこちらまで切なくなってきましたね。いつも積極的で明るいエネルギーを振りまいてる人には、似たような人が集まります。「類は友を呼ぶ」の法則です。また、私達日本人は「お辞儀」をよくしますね。この習慣はとても素晴らしいと思います。「あなたを敬います」と伝えているのです。仏様の教えには「礼拝行」(らいはいぎょう)があります。「われ仏 みな仏」の思いを現わしています。笑顔と、お辞儀で周りの方だけでなく自分も気持ち良くなれるのです。

自分の仕事やキャリアのためなら、みんなそれぞれかなりの努力をする。それなのに、たいていの人は、自分の幸せのためには、家でなんの努力もしないのだ。

不幸になることは難しくない。難しいのは幸せになることである。だからといって、それはあなたが努力しない理由にはならない。その逆である。やりがいのあることはなんでも難しいのだ。

「幸福論」 アラン

他人の忠告に耳を傾ける

2月3日は大雪でした。その日私は横浜、川崎で法事が入っていました。幸いに遅れることなく移動することができましたが、それもこれも「おかげ様」を2つ頂けたからでした。その1つは、この冬に入ったころ、知人から強く勧められたのが「冬用タイヤ」でした。その方も仕事で車を常用しますので経験の中からのアドバイスであったと思います。「冬用タイヤ」であったので、すいすいのドライブでした。あと1つは家内から「何かあるかわからないから、早めに出なさい」の一声でした。尻をたたかれて早めに出発しますと、途中で渋滞がありましたが十分間に合いました。「備えあれば、憂いなし」とはまさにこの事です。どちらかといえ、天邪鬼(あまのじゃく)なこの私が、素直に受け止めることができたので大雪のなかを無事勤められたと思います。もしも、その時自分が素直でなかったなら、と考えますと、多くの方にご迷惑を掛けていたであろうと思います。

日頃、口やかましいくらい意見をしてくれる人の存在を大切にしましょう。強情な心は損をしますね。

圓久寺の行事

春季彼岸法要 3月20日(木)午後2時より

花祭り 釈尊降誕会 4月6日(日)午後2時より

月例信行会 5月25日(日)午後2時より

月例信行会 6月29日(日)午後2時より

お盆法要 8月9日(土)午後1時受付

お盆法要は事前に出欠をとらせていただきますが、他の行事はお気軽にお参りしてください。事前に私まで確認の電話連絡をいただければありがたいです。

春の戸が、少しずつ開かれていきます。もう少しの辛抱です。何事にも前向きに取り組みましょう。

「法華経を信ずる人は冬のごとし。冬は必ず春となる。いまだ昔より聞かず、みず、冬の秋とかへれることを。いまだ聞かず、法華経を信ずる人の凡夫となることを。」

日蓮聖人の御言葉

吉田俊栄 拝

